

■期 日：8月1日（火）

■場 所：口之津公民館

■参加者：29人

1. ごみ収集

【意見】

今年4月からごみ収集がステーション化となったが、住民の反応はどうか。多額の予算を使ってあると思うが、メリットがないのではないか。

観光面に重点を置いて、オルレコース等のトイレの整備や除草等に予算を使ってほしい。

【回答】

ごみステーションについて、口之津は以前、3カ所の不燃物置場で収集していましたが、できれば近くのごみステーションで収集を希望する声が多くありました。4月から始まって現在までに特段の苦情等は特にありません。ただ、収集の時間や、仕分けの方法が分からないといった問い合わせがありました。

市民の方の利便性を上げる制度ですので、ご理解をお願いします。

【意見】

収集には2,500万円の予算を組んでいて、500万円をシルバー人材センターに補助して、残りの2千万円をかけてやっているとのことであった。2千万円の効果があるのか不明である。お年寄りのために思っているのであれば、シルバー人材センターを活用し、効率的に予算を使ってほしい。

【回答】

高齢化が進んでおり、タクシーでごみを運んでいる方もいらっしゃいます。近所にご家族がいればいいのですが、独居の方もいらっしゃるので、この制度を導入しました。改善すべきところは改善していきます。

オルレコースについては、地域のご協力をいただき環境整備をしています。市の職員も休日に除草作業等を行っています。地域の皆さんと一体となって素晴らしいコースにしたいと思っています。

トイレについては不足していると思いますので、皆さんの意見を聞きながら徐々に整備していきたいと思っています。

2. 福祉関係

【意見】

昨年、あんま券の増加を要望したが、その後何の連絡もない。1年は12か月あるので、1月1枚の

1 2 枚にしてほしい。整骨院は3割負担で15分で600円かかる。あんまの場合は自己負担が1時間で2千円となる。整骨院でもんでもらおうと思えば、保険を使わない場合、60分で8千円かかる。治療院では60分で3千円である。このような不都合なことがある。昨年、どれくらいの人が券を使って実績はいくらのだったのか、はっきりしてほしい。

【回答】

申し訳ありませんが細かな実績は、今持ち合わせていません。券は国民健康保険の加入者に配付されていますが、現在、国保の財政事情が悪い状況です。1人あたりの医療費が非常に上がっており、南島原市の基金（貯金）がほとんど無い状態です。そこで昨年度、国民健康保険税の税率を上げましたが、それでも足りない状況でしたので、約4億円を一般財源から繰り入れています。そういった事情を勘案しますと、鍼灸あんまの券を増加することができませんでした。説明が不足していましたことを含めまして、お詫びいたします。

【意見】

国保税が上がったのでしょうか。75歳になった時に1割負担で運営できるのか。恐らくできない。なぜ、あんま券が必要かという、高齢になっても少しでも元気でいたいからという思いがあるからである。医療費の増加は分っているが、予防という面に少し予算を使ってほしい。

タクシー券は増額している。雲仙・島原市とも情報交換してみてもどうか。券の2枚の増加をお願いする。

【回答】

国民健康保険は平成30年度から県で統一して運営をする予定になっています。

あんま券等についても、統一後に方向性が決まると思いますので、できればご希望に沿えるような方向にしたいと思っています。

また、雲仙市、島原市に限らず、他市の状況についても調査し報告したいと思っています。

3. 福祉関係（養成講座）

【意見】

手話サークルの会長をしており、今回、聴覚障がい者のために手話通訳者・要約筆記者をご利用いただき感謝する。また、手話入門講座や養成講座を開いていただいていることにも感謝する。

要望ですが、手話入門講座や養成講座を昼間の時間帯に講座を開いていただき、昼間に活動できる人を養成してほしい。

【回答】

今の段階では、昼間に開催するということは、はっきりとは言えませんが、今後の状況をみながら実現へ向けて進めていきたいと思っています。

4. ごみ収集

【意見】

燃えるごみは、朝8時30分までに出してくださいとのことであるが、東大泊自治会には収集車が2回来ている。

自治会の人が勘違いして、朝8時30分に出さない人がいる。注意したところ「収集車は昼からも来ている」という返事であった。もう一度、広報紙等で周知をお願いしたい。

【回答】

ごみの収集の時間帯がバラバラでご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。午前8時30分以降に収集するように業者には伝えていますが、それ以前に収集するのは問題ですので、市民の皆さんにご迷惑をおかけしないような方法をとりたいと思います。

2回目の収集については状況を把握して報告いたします。収集についての周知も図っていきます。

5. ごみ収集

【意見】

南大泊は8時30分より前に収集に来ている。時間前であることを言う「また次の収集車が来るから」と返された。

【回答】

業者の回収ルートの関係もあったのかもしれませんが、置かれたごみはできるだけ確実に収集するという意味もあったとは思いますが、今後はちゃんとした方向に進むよう実施していきます。

6. 農道

【意見】

農道の立木の伐採をお願いしたい。この前の台風3号で道路側に倒れていて、通行止めになりそうなくらいの状況であった。バッサリ切って安全を確保してほしい。

【回答】

そういう場所がありましたら、ご連絡いただければ対応したいと思います。

【意見】

森がトンネルになっている場所もある。枝切だけの伐採で済む問題ではない。口之津から白木野まで全域的に、ある程度の区域（範囲）を一斉に伐採してほしい。

【回答】

予算の関係もありますが、現地を確認して根本的な処置をしていきます。

【回答】

道路の外側の民有地からトンネル状になってきたところもあります。道路に付随した公有地になっていれば伐採ができますが、私有地から出てきたものは、所有者の責任で管理をしてもらっている状況です。民有地であっても伐採ができるような仕組みを考えていますが、なかなか対処が難しい状況です。

【回答】

加津佐町の山手の地区は地元の方で伐採をやっていただいているところもあります。そういうところは燃料代の支給等の支援をさせていただいています。根本的に木が出ているところは伐採しないといけませんので、農林水産部と協力して、現場を確認しながら対応したいと思います。

【意見】

榎田の長崎新聞社の前の集水桝について、一方は海上技術学校方面へ、もう一方は口之津病院方面へ、もう一方は前方水路に流れるようになっていたと思うが、現在、木で塞いであるのは何故か。木等が流れてきて冠水してしまうので改善を。

【回答】

長崎新聞社前の集水桝については、下水道課で管理しています。前方、木之崎は貯水能力を上げて、できるだけポンプであげるのを少なくして自然流下をさせています。一定方向だけではなく前方にも木之崎にも流れます。ポンプアップの維持管理費を削減するという考えで整備をしています。木之崎の方のポンプが今年完成しましたので、結果的に3機になりました。今後は状況をみながら管理をやっていきます。下水道課にも話をしたいと思います。

7. 学校教育（高等教育）

【意見】

市内には高校が2校、海上技術学校が1校あるが志願者数が少ない。高等教育機関を盛り上げないと市の活性化には繋がらないのではないかと。

もっと学校と市が連携してイベントや会議等で情報発信をしてもらいたい。昔、口之津に産業学校というものがあった。短期大学に相当する。高等教育機関に関心を持っていただきたい。

【回答】

高校については県教委や校長先生と定期的に情報交換をし、どうすれば地元の高校に進学してくれるかや、地元の高校の良さを広める方法等の話をしています。口加高校の新しくできたグローバルコースには3人しかいなかった。来年の入試までにどれくらいの生徒数を伸ばせるか考えている。全力を尽くして努力していきたいと思います。情報を共有し、いち早く中学生にPRできる体制をとるように各学

校に依頼したいと思います。

8. 地域活性化

【意見】

南島原市に新しい歌がないのか。歌を自分で作って昨年、ユーチューブにもアップした。その結果、長崎新聞の取材も受け、NBC ラジオでも紹介していただいた。包括支援センターの方たちの計らいで「南島原来んね体操」ということで、歌に体操をつけてもらった。桜まつりでもお披露目をし、マリンフェスタでも紹介してもらった。南島原市の活性化の1つのツールとして利用していただければありがたい。

【回答】

活用させていただきたいと思います。ありがとうございました。

【回答】

原城マラソンでお披露目をさせていただきたいと考えています。準備体操で全部を流すには少し長いので、少しアレンジをお願いしようと思っております。ありがとうございました。

9. 食品衛生

【意見】

8月3日に食中毒防止パレードを計画している。深江庁舎から西有家庁舎までと、加津佐庁舎から西有家庁舎までを行い、西有家庁舎で市長と懇談することを計画しています。その際、各支所長さんには、激励をお願いしたい。広報車を市から借りて行いたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

おかげさまで、現在のところ保健所から許可を受けているお店で、食中毒は出ておりません。

【回答】

お話はお聞きしています。暑い時期に活動していただきありがたいと思っております。

10. ごみ収集

【意見】

白浜は海水浴シーズンで賑わっているが、トイレの横に海に上がったごみや壊れた雨戸等が置いてある。加津佐のごみ収集車の人がそこに置いていいと言ったそうである。誰がそう言ったのかと思いシルバー人材センターに電話したら、市の環境課が置いていいと言ったとのことであった。そのままにしておくと、ごみ捨て場になってしまうので、綺麗に整理してもらいたい。

【回答】

事情を把握して、対応したいと思います。

1 1. 地域活性化（前浜周辺整備）

【意見】

加津佐前浜周辺の活性化の検討委員会というのがあるが、これまでにあの周辺を何とかしないといけないということで、検討をされてきた。口之津から加津佐の海岸線を活かしていきたくないと思う。せめて、口之津から加津佐までの島鉄跡地の利活用を。加津佐は島鉄の終着駅でもあったし、昔は賑わいもあった。島鉄跡地、旧加津佐駅を含めて活性化を。

【回答】

過去に加津佐の駅舎周辺の整備計画もありました。青写真もできていたようですが、当時は島鉄の線路跡地を譲り受ける方針が決まっていませんでした。現在はおおむね整理がつきそうであり、今年度島鉄から譲り受ける準備をしています。ご提案の活用法も視野に入れて、地域の皆さんの意見も聞きながら進めていきたいと思います。

1 2. 観光

【意見】

有明海は観光資源がたくさんあるので、口之津発の有明海クルーズ船を運航すれば有効な観光ツールになるのではないかと。島原市や他の自治体と一緒に先駆けて考えてほしい。

【回答】

口之津開港450年記念でクルーズ船が運行しましたが、これを何かに活かさないか考えています。

世界遺産登録に関連して天草市とも連携しながら、地域資源の活用方法についてもお互いの計画を示しながら話し合いをしています。

8月10日には、天草市と交流連携協定を結ぶことにしていますので、さらに連携していきたいと思っています。

また、五島産業汽船が運行する長崎港から天草の崎津までのクルーズ船への乗船案内がありましたので、企画振興部の担当課長2人に視察してもらいました。そういうことも含め、口ノ津港や本市の海の活用を考えています。

1 3. 観光

【意見】

10年ほど前に商船三井客船の「日本丸」という船を小浜に一度呼んだことがある。それ以降は寄港しなくなった。現在、天草や鹿児島に寄港するコースができているようである。口之津港に寄港させることができれば誘客が図れるのではないかと。

【回答】

船員のまちとして重要なまちおこしの要素になると思います。十分、受け止めておきたいと思っています。

14. 島鉄跡地（展示スペース）

【意見】

船員さんが各国を回って集めたものを展示する展示スペースを旧加津佐駅に造ってはどうか。

【回答】

口之津歴史民俗資料館に民芸品等の展示スペースがあります。

また、これから建設予定の口之津港ターミナルの2階に、展示スペースを設ける予定です。

15. 地域活性化

【意見】

県外から帰郷して10年ほど経つが、人の移り変わりは寂れる方向に進んでいると思う。いろいろな知恵を出して施策をされていると思うが、上手くいっていないと思う。長与町や時津町は長崎のベッドタウンとしてどんどん発展している。しかし、加津佐から深江は寂れる一方であると思う。みんなで原因を考える必要がある。いい知恵を出し合ってもらいたい。

【回答】

合併当初は5万6千人いた人口も現在は4万7千人であり、8千500人も減っており、1つの大きな町が消滅したような状況です。

少子化対策や雇用対策等いろいろやっておりますが、なかなか特効薬的なものはありません。何か特色を出してやっていかなければいけないと思っています。職員が一丸となってプロジェクトチームを作っているところです。平成27年度に策定した総合戦略に基づき進めています。一番の課題は雇用の場の確保であると考えています。事業所の方が1人でも多く雇用するような仕組みができないかということで、現時点では地道なことを積み重ねてやっていかなければならないと考えています。皆さんのお知恵もお借りしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。